

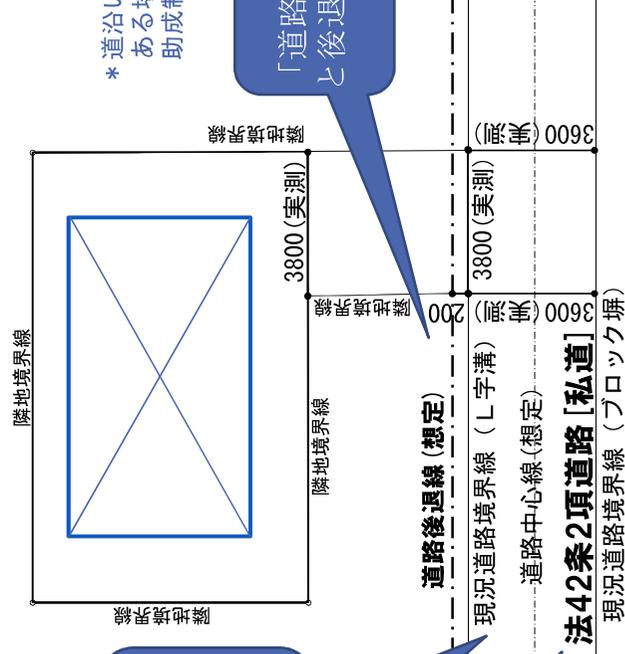
新宿区建築物等耐震化支援事業 書類作成時の留意点

令和5年7月20日

接道条件等の表記例①

■ 法42条2項道路で未協議の場合

※隣地境界が確定していない場合も同様



現況道路境界線と判断した地物等の根拠を記載

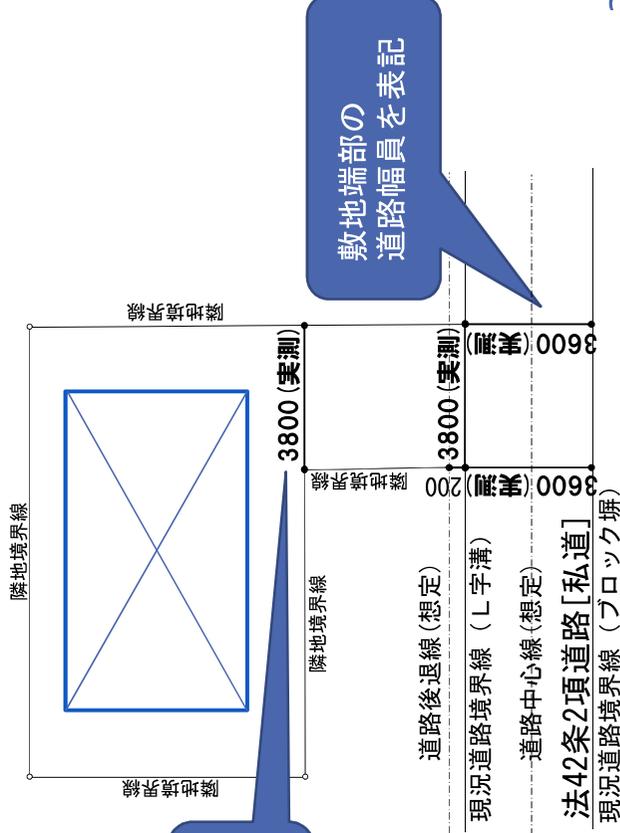
例：ブロック塀、権利者からのヒアリング等

道路種別を表記

接道条件等の表記例②

■ 法42条2項道路で未協議の場合

※隣地境界が確定していない場合も同様



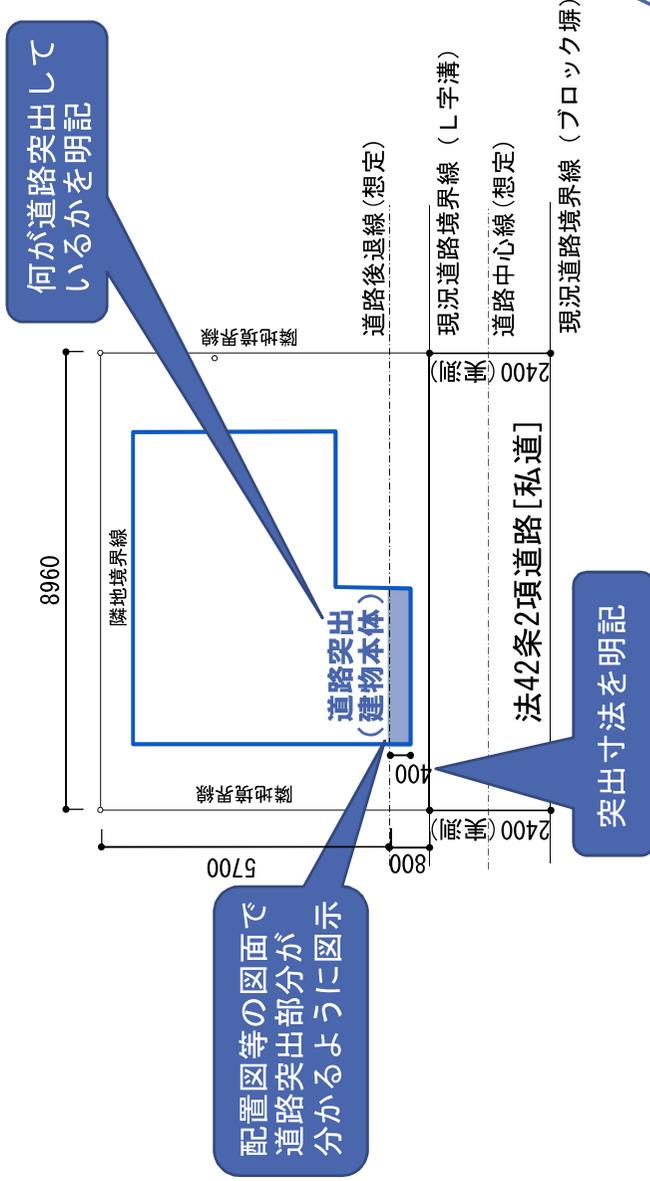
3

実測値であることがわかるよう「実測」の表記

* 隣地境界等が確定していない場合、どこから測った実測値か地物等を明記

接道条件等の表記例③

■ 道路突出の場合



4

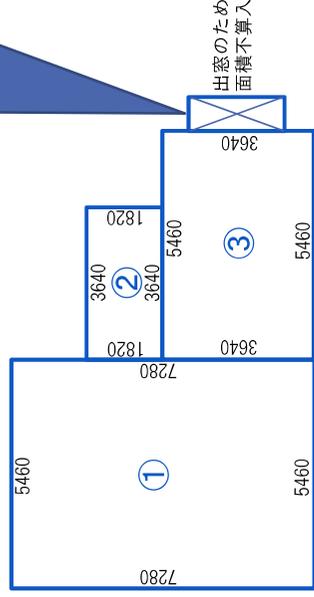
面積表の作成例

計算式で使用している
数値は、求積図にも表記
(対象箇所がわかるよう
にするため)

番号	計算式	面積 m ²
①	5.46 × 7.28	39.7488
②	3.64 × 1.82	6.6248
③	5.46 × 3.64	19.8744
1階合計		66.2480
④	5.46 × 7.28	39.7488
⑤	3.64 × 1.82	6.6248
⑥	5.46 × 3.64	19.8744
2階合計		66.2480
合計		132.4960
延べ床面積		132.49m ²

電卓で内容確認が
できるように表記

面積不算入がある
場合は、
求積図に該当箇
所・理由を図示



1階

延べ面積の小数第三位
を切り捨て

5

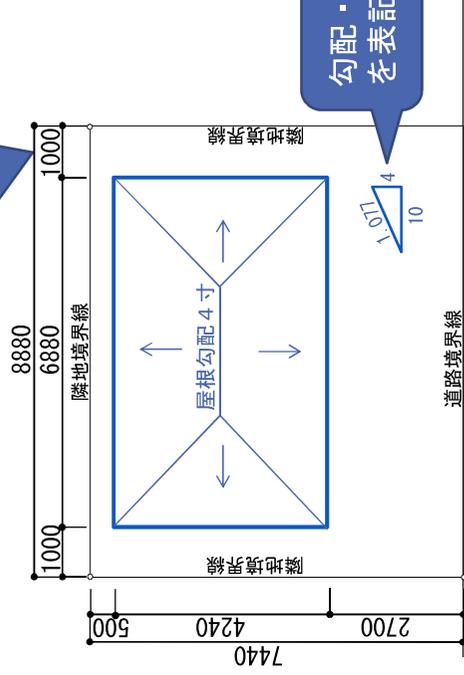
屋根工事・基礎工事を行う場合の表記例

$$6.88 \times 4.24 \times 1.077 = 31.417$$

屋根面積 31.41m²

電卓で内容確認が
できるように表記

軒先等から各敷地境界線まで
の寸法を表記



* 足場を組む場合は、
数量(面積等)の根拠となる
資料(計算式・平面図等)
を添付

* 基礎工事の場合は、
数量(長さ等)の根拠となる
資料(計算式・平面図等)
を添付

勾配・勾配係数
を表記

6